

文教科学委員会

みずおか俊一議員が質疑に立ち、
石破総理・文科大臣を追及！



6月5日・10日、文教科学委員会において、みずおか俊一参議院議員が質疑に立った。みずおか議員は、重要広範議案である給特法をはじめ、学校現場の課題について石破総理等を厳しく追及した。(以下、要約掲載)

冒頭、森戸中央執行委員長によるあいさつでは、「学校における働き方改革」、「組織の拡大・強化」、「政策・制度要求の実現」にむけたとりくみの3点について提起があり、兵教組を代表して、「子どものゆたかな学びと育ちの保障、教職員が使命と誇りを持ち続けるため、政策・制度要求の実現、組織の拡大・強化にむけ、全力でとりくむ決意」を述べた。

来賓として、那須連合兵庫会長、土取県職労中央執行委員長、井坂立憲民主党兵庫県総支部連合会代表、向山国民民主党兵庫県総支部連合会代表、

各地域組合・専門部からは、勤務時間・業務負担などの問題、議員の必要性、福利厚生、組織拡大・強化等について、多岐にわたる分野の議論や討論があった。

協議事項はすべて可決決定され、承認事項も承認された。

表、北野兵政連幹事長からの激励をうけた。

経過報告、会計報告、監査報告が一括承認された後、協議事項として運動方針や予算案等について、提案があった。

各地域組合・専門部からは、勤務時間・業務負担などの問題、議員の必要性、福利厚生、組織拡大・強化等について、多岐にわたる分野の議論や討論があった。

協議事項はすべて可決決定され、承認事項も承認された。

表、北野兵政連幹事長からの激励をうけた。

経過報告、会計報告、監査報告が一括承認された後、協議事項として運動方針や予算案等について、提案があった。

各地域組合・専門部からは、勤務時間・業務負担などの問題、議員の必要性、福利厚生、組織拡大・強化等について、多岐にわたる分野の議論や討論があった。

協議事項はすべて可決決定され、承認事項も承認された。

表、北野兵政連幹事長からの激励をうけた。

経過報告、会計報告、監査報告が一括承認された後、協議事項として運動方針や予算案等について、提案があった。

各地域組合・専門部からは、勤務時間・業務負担などの問題、議員の必要性、福利厚生、組織拡大・強化等について、多岐にわたる分野の議論や討論があった。

協議事項はすべて可決決定され、承認事項も承認された。

表、北野兵政連幹事長からの激励をうけた。

経過報告、会計報告、監査報告が一括承認された後、協議事項として運動方針や予算案等について、提案があった。

各地域組合・専門部からは、勤務時間・業務負担などの問題、議員の必要性、福利厚生、組織拡大・強化等について、多岐にわたる分野の議論や討論があった。

協議事項はすべて可決決定され、承認事項も承認された。

第156回定期大会

6月14日、ラッセホールで兵教組第156回定期大会を開催した。2年間の運動方針、9月ごろまでの当面する運動の展開、25年度予算案等について可決決定・承認された。

代議員による討論では、学校における働き方改革や、組織の拡大・強化にむけたとりくみなどが語られた。

冒頭、森戸中央執行委員長によるあいさつでは、「学校における働き方改革」、「組織の拡大・強化」、「政策・制度要求の実現」にむけたとりくみの3点について提起があり、兵教組を代表して、「子どものゆたかな学びと育ちの保障、教職員が使命と誇りを持ち続けるため、政策・制度要求の実現、組織の拡大・強化にむけ、全力でとりくむ決意」を述べた。

来賓として、那須連合兵庫会長、土取県職労中央執行委員長、井坂立憲民主党兵庫県総支部連合会代表、向山国民民主党兵庫県総支部連合会代表、

各地域組合・専門部からは、勤務時間・業務負担などの問題、議員の必要性、福利厚生、組織拡大・強化等について、多岐にわたる分野の議論や討論があった。

協議事項はすべて可決決定され、承認事項も承認された。

表、北野兵政連幹事長からの激励をうけた。

経過報告、会計報告、監査報告が一括承認された後、協議事項として運動方針や予算案等について、提案があった。

各地域組合・専門部からは、勤務時間・業務負担などの問題、議員の必要性、福利厚生、組織拡大・強化等について、多岐にわたる分野の議論や討論があった。

協議事項はすべて可決決定され、承認事項も承認された。

表、北野兵政連幹事長からの激励をうけた。

経過報告、会計報告、監査報告が一括承認された後、協議事項として運動方針や予算案等について、提案があった。

各地域組合・専門部からは、勤務時間・業務負担などの問題、議員の必要性、福利厚生、組織拡大・強化等について、多岐にわたる分野の議論や討論があった。



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合
代表者 森戸卓也
編集人 松浦明日香
電話 050 (3538) 2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2025/6・15
No. 2119



県内各地域組合・専門部から集まった代議員

「人権教育のための国連10年」
兵庫県推進連絡会
人権教育ひょうご
第28回総会



5月24日、「人権教育のための国連10年」兵庫県推進連絡会 人権教育ひょうご第28回総会が、ラッセホールで開催された。

冒頭、西村恭介代表委員(兵高教)の開会あいさつ、経過報告があり、議事では活動方針・年間計画等について話し合われた。

記念学習会では、栗本敦子さん(Facilitator, SLABO(えふらぼ))を講師に招き、「悪意のない差別・マイクログレッション」と題した講演がおこなわれた。

「マイクログレッション」とは、マイノリティの属性をもった人に対して発せられる「尊厳を傷つけた」「敵意を示したり」「排除をしたり」する言動。表面的には悪意がないように見えることが多く、受け手がネガティブな感情を抱くことに気づきにくい。



栗本敦子さん

自分にとって新たなことを学ばせてもらった。個人の意識の問題ではなく、社会のあり方として捉える」ということが心に響いた。社会のあり方が個人個人の意識を決定づける、悪意なく人を傷つけてしまうことがある。難しい課題だが、理解を深めたいと思った。

第27回参議院議員通常選挙にむけて
推薦しています！！



兵庫県選挙区
いずみふさあき
泉房穂

明石市出身
東京大学 教育学部卒業
元衆議院議員(1期2年)
前明石市長 (3期12年)



比例代表
みずおか俊一

豊岡市出身
元三木市中学校教員
元兵教組執行部(7年)
参議院議員(3期18年)
立憲民主党参議院議員会長

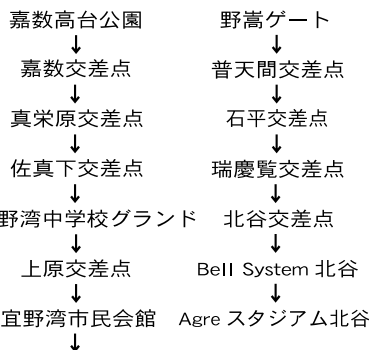


沖縄が本土に復帰した1972年5月15日から53年。沖縄の内地を知り、基地のない平和な沖縄を全国に訴えるため、毎年実施されている「5・15沖縄平和行進」が今年もおこなわれた。2日めの平和行進および県民大会には、県内外から1,900人(主催者発表)が参加した。

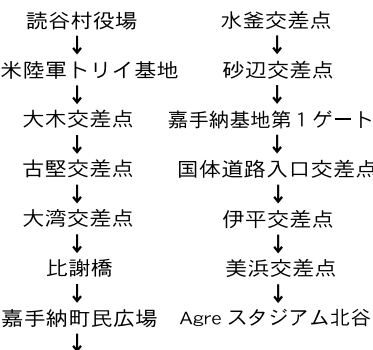
行進では、沖縄県中頭郡北谷町のAgreスタジオ北谷へむけ、嘉手納基地コースと普天間基地コースの2組にわかれて出発した(下記参照)。

兵教組からは、平和運動を次世代に継承するために、平和フォーラム加盟組織・地方組織とともに、青年部が「5・15沖縄平和行進」に参加した。

普天間基地コース



嘉手納基地コース



戦後80年をむかえて

三木 あゆみさん(指籠)

今回の学習会や平和行進、フィールドワークを通して、観光地として人々に愛される伝統ある沖縄の、一つの側面を学ぶことができた。日本の在日米軍基地の70%は沖縄に集中している。基地の周りには、金網や有刺鉄線が張り巡らされ、ミサイルの配備や騒音問題、ヘリの墜落事故、環境汚染など、多くの問題が日常のすぐ隣にある。

戦後80年をむかえる今年、戦後生まれが人口の90%以上になるといわれる。戦争の悲惨さを語り続けてこられた体験者の方々が少なくなる今日、私たちは、戦争の被害と加害の実相を風化させることなく、語り継ぐ必要がある。毎年子どもたちとおこなっている平和学習の大切さも改めて感じました。「私たちには、状況をかえる力がある」という気持ちを持ちもち続け、未来を担う子どもとともに正しく学び、平和な沖縄、平和な日本を築く一歩に努めたい。

沖縄の住民の思いにふれて

永柄 千琴さん(指籠)

「沖縄の中に基地があるのではなく、基地の中に沖縄があるように感じる」結団式での団長の言葉だ。初めて参加した平和行進で、嘉手納基地に挟まれた道路を歩いていると、まさにその言葉通りだと思った。沖縄の基地問題について、頭ではわかっているつもりだった。しかし、知識だけでは実際にそこで生活している方々の不安や恐怖までは理解できないのだと感じた。

フィールドワークでは沖縄陸軍病院南風原現豪群平和の礎、ひめゆり平和祈念資料館を訪れた。現地ガイドの方が、平和の礎内「全学徒隊の碑」前で、「これだけの学徒の存在があったことを忘れてはいけない」

教え子を再び戦場に送るな

岡本 葉奈さん(洲本)

今回で2回目の参加になる沖縄平和行進。今年は嘉手納基地の周辺を全国の仲間とともに行進した。嘉手納基地は3つの市町村にまたがる、東アジア最大の米軍基地である。読谷村役場を出発し、北谷町に入ると道路を挟んで右も左も基地だった。フェンスの上にある有刺鉄線の返しはすべてこちらにむいており、沖縄以外では考えられない風景が続いていた。米軍基地の中に沖縄があるようだ」という言葉の意味を強く噛みしめながら歩く時間であった。

翌日のフィールドワークでは、ひめゆり平和祈念資料館を見学した。



ファミリーパズル

まちがい探し

パズル制作：ひろみよこ

右と左の絵をよく見くらべると、違っているところが10カ所あります。どちらかの絵に10カ所赤丸を入れ、切り取ってのはがきに貼って送ってください。お名前、地域組合名、住所(郵便番号も)を明記の上、ご応募

ください。また、本紙の感想などもお寄せください。20人の方に粗品を差し上げます。締め切り：9月30日(消印有効)あて先：〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8ラッセホール4F「教育ひょうご編集部」



兵庫県議会第371回定例会

小西ひろのり議員が代表質問で訴える！



6月6日、第371回定例会で小西ひろのり県議会議員が代表質問に立ち、公益通報者保護制度をはじめとする県の対応、教職員の未配置問題の解消にむけたとりくみ等、4項目について訴えた。(下要旨掲載)

教職員未配置について

○小西 全国の公立学校で教職員の未配置問題が解決せず、ここ数年、「学級担任がないクラスがある」という実態が年度はじめから起きている。子どもや保護者からは「いつ担任の先生が決まるんやろ」等の不安な声、深刻な声があがっている。未配置は学期を追うごとに増加の一途をたどっており、兵庫県においても課題となっている。

学校現場では、教頭が学級担任を掛け持ちしたり、学級担任がいないクラスの授業を教職員が互いに交代ですすめたりする等、ひとりが一人分の業務を担い、対応をせまられている。また、支援を必要とする子どもが年々増え、保護者や子どもの価値観

も多様化しており、その対応を担う教職員の役割は以前と比べると大きく増えている。

産休・育休からの復帰を考える教職員は、「このまま仕事を続けることができなくなるのか」という不安に陥り、復帰を迷う事例も増えている。残念ながら、現在の学校は魅力ある職場とはなっていない。子どもにとってもよい状況となっていない。

このような環境下でも、「子どもを安心させ、落ち着いた環境で生活できるようにしたい」という使命感から日々懸命にとりくみ、すすめている教職員もおり、なかには70歳を超えて学校現場で働く方もいる。そのような教職員が疲弊し

てしまいう前に抜本的な対策が必要である。

文科省は、「教師不足」に関する実態調査の結果公表をおこなって以降、特別免許状の積極的な活用や臨時免許状の適切な授与等について依頼している。

しかし、実際に教職員を採用するのは兵庫県で、人材を確保するのは各市町教育委員会との連携なしでは未配置問題の解決には至らない。県全体でのこれまでもとて成果や課題の総括、今後のとりくみ方針や方向性について当局の見解を伺う。

○藤原教育長 人材確保対策では、正規職員の確保にむけ、教員のやりがい・魅力を発信するPR動画の作成等をおこなっている。

教員採用試験では、現職や臨時講師への一時試験の全部または一部免除等、様々な採用試験の工夫改善はかっている。市町の要望を受けて、産休育休取得者の代替教員確保にむけた先読み加配の活用等、あらゆる対策にとりくんでいる。

働きがいのある学校づくりにむけては、校内サポートルーム支援員の配置支援等、教職員の負担軽減にも繋がる不登校対策の総合的な推進やスクール・サポート・スタッフの配置支援等、県市町が一丸となって総業務量の削減にとりくむ。

引き続き人材確保対策や働き方改革を検討・実行し、教職員不足の解消に努める。